実態学び未然に

子育て支援勉強会」

開

催

高校生相当年齢までの子 か」を基本方針に、学校

には、心配させたくな

|ほしいこと~] |めに~保護者に実践して | 等の性被害にあわないた

ネットスト

子育でも大切ではないだ

都

小

P

ポ

ŀ

親にも言えない子供の心

家庭の立場で幼児から

も多い。

教員だけでなく

策本部実施事業「ネット

■東京都青少年治安対

 $\Diamond$ 

子供本人からの相談

が示す「大綱」

供

**(**)

将

来

像

生の糧となるかけがえの 生の糧となるかけがえの といっク教育の推進=人

戦

L

た弦

巻

を着実に育成するため、 0年代を支える子供たち 京で活躍する子供たち、 さらにはその先の204

自立して生きていく人間

③世界で活躍できる人材

防災教育の推進

自他を尊重し社会で

■重点事項と主な内容

で示された人

は

しました。「大綱」で 平成27年3月に策定

> つの人間像です。 たちの将来像は、次の3

東京都は平成27年11

■子供たちの将来像

「大綱」が定めた子供

へ(重点

⑥子供たちの健全な心を

チャレンジの教育環境の =社会全体での支援と再 ⑤不登校・中途退学対策

2月27日(土)足立区総

れあい 制

バ

V

レーボー

ル

大全会都

育む取組=いじめ、

、暴力

ました。女子14チーム、

都小

P

IJ

Ì

ġ

Ì

研

に反映

を

「東京都教育施策大

された東京都長期ビジョ ンで掲げる、10年後の東

う

理数教育の推進で基本の確実な習得、

⑦特別支援教育の推進=

声をかけ、

一つのボー

障害のある子供たちの教

ルを粘り強く繋ぐ姿に、

優勝=世田公

| 1. これからの時代を担

め細かい教育の充実=基 ①個々の子供に応じたき 事項) に定めています。 取り組むべき事項

策

SNS等の適正な使

い方の啓発

合を繰り広げました。 ームが参加、白熱した試 男子エキシビション3チ ール全都大会が開催され 第22回ふれあいバレーボ 合スポーツセンターで、

|行為、自殺等の防止対

2. 和のとれた人間

グローバル化する東 「知」「徳」「体」の調

日本を支える人間

の推進=道徳・キャリア ②社会的自立を促す教育

育環境の充実

3.京

り組むべき教育の根本的

間像の実現に向け、

④オリンピック・パラリ および国際感覚の醸成 の育成=英語教育の充実

に沿って計画されます。

て都小Pが実施するリー

この内容

た。次のチームがベスト

た素晴らしい大会でし

3に入賞しました。

でとうございます。

入賞チームの皆様おめ

都教委の委託事業とし

| 良さと選手の笑顔が輝い

校/第三位=文京区立根 = 江東区立第1 区立弦巻小学校/準優勝

あがり、チームワークの 会場からは大きな歓声が

# 

の状況をお聞きし、後半では都が実施するネッ 会を実施しました。 ト等の性被害(児童ポルノ) 催されました。前半は東京都における教育相談 10月7日(水)世田谷区の北沢タウンホール 都小P自主事業「子育て支援勉強会」 根絶等の啓発講演

| する相談を受け付けてい| 校、体罰、進路などに関 不登校に関する相談 いる。 必要に応じて来所を促というプライドがある。 つけ出すことを目指して めの、一番いい方法を見 びのびと生きていけるた ともしている。子供がの 現状から切り離すこ 長時間話を聞くな

ンターを利用して欲し る保護者がいたら、 人で悩みを抱えてい 当セ 人と違い、 く色々な人と知り合うツ 啓発講演会・平川貴之氏 | 害(児童ポルノ)根絶等の ールにもなっている。 子供のネット利用は大 講師:ネット等の性被 調べ用ではな

情報漏えいによって個人 い人数ではない。画像や はクラスに1人など少な は低いが、項目によって 学生のネット被害の割合 小 を 代。ネット以外のことに ブルに繋がってしまう時 魅力的だが、 興味関心をもてるような 言させる。 て設定する。 携帯は手軽で子供には 簡単にトラ

近藤幸弘氏

子供にとって何が大切

教育相談センターは

多い。

į,

学校は人間関係の原因が

センター統括指導主事・

では、

中学は勉強が、小

「相談の状況について」

「東京都における教

講師:東京都教育相談

る。

体的で守りやすいルール家庭でのルール作り=具 ルールも子供に決めて宣 守れなかった場合の

供と話し合いながら決め タリング機能=子

から守るためにでくく きること》 携帯電話のフィル

強く意識して欲し 能性があることを ずの人と繋がる可 保護者は見ず知ら

数字を示しながら相談の実態を語る近藤主事

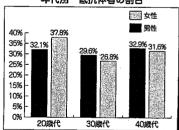
## 風しん・麻しん発生防止に向けて

一砂町小学

平成26年度に都内で風しん抗体 平成20年度に部内で風しん机体 検査を受けた方の約3割が免疫が 十分でないことがわかりました。特 に20代女性では高い割合でした( グラフ参照)。これから生まれてく る赤ちゃんを先天性風しん症候群 から守るため、風しんり患歴や予防接種歴が不明である場合には抗 検査を受け、免疫が十分でない 場合は予防接種を受けましょう。 今後、風しんが流行することも十分 考えられます。風しんは感染力が 強いので、家庭内や職場に、これか ら妊娠出産をする方がいる場合は、 周りの方も予防に努め、社会全体 で未来の子供たちを守りましょう。

### <東京都福祉保健局> 東京都 麻しん・風しん対策会議

年代別 低抗体者の割合



# 第27回 都小P 広報紙コンクール応募要項

【趣 旨】東京都公立小学校PTAが発行する広報紙作品を広く募集し、 優秀作品を表彰することによりPTA広報活動の活性化を促進し、 PTA活動の一助とすることを目的とする。

【対 象】平成27年4月から平成28年3月までに、年2回以上発行された 全ての広報紙(印刷・手書き・ワープロ)を対象とする。 ※複製したものは不可。また、装飾補強の為の表紙等はつけない。

(応募方法) 年間発行した全ての号(3回発行の場合は1~3号)を1セットとし、同じものを3セット作成してください。 それぞれに「応募票」を添付し、ダブルクリップで止めてください。(作品にパンチなどの穴あけ、ホチキス・ひも等で綴じないようお願いいたします)

締切り:平成28年4月11日(月)必着

送付先:〒105-0021 港区東新橋 2-2-10 村松ビル6F 般社団法人 東京都小学校PTA協議会事務局

問合せ:電話03-3431-1575 FAX03-3431-7072

メール: office05@ptatokyo.com

応募用紙、要項の詳細は都小Pホームページをご覧ください。 http://www.ptatokyo.com/

#### 〈東京教育庁〉 体育的活動における 安全対策検討委員会

東京都教育委員会は、体育授業や部 活動、学校行事等の体育的活動にお いて、けがや事故の防止や、危険を回 避する安全対策についての基本的考え方を示し、安全対策を講じるために、 標記委員会を設置しました。

この会議では、次の内容が検討され

●様々な体育的活動に内在する危険 性について

①体育授業 ②部活動 ③学校行事(運動会・体育祭)組体操 巨大ピラミット・タワー、ムカデ競走、騎 馬戦、棒倒し、棒引き等

●事故の未然防止について ●安全な指導法や対策

●児童・生徒の危険予測・回避能力の 育成について

3月開催の会議でまとめ、報告書が 提示されます。

## <東京都総務局人権部> 犯罪被害者等支援 を進める会議

#### 性犯罪·性暴力被害者 ワンストップ支援事業

性犯罪・性暴力の被害者の多くが 誰にも相談できずにいます。東京 都では、24時間365日、性犯罪・性 暴力被害に遭われた方からの相談 を確実に受け付け、医療機関や警 察等に付き添い、必要な支援につ なげていく体制を構築しています。 以下の「性暴力救援ダイヤル」にご

性暴力救援ダイヤルNaNa Not alone. Not afraid もう一人じゃないよ、

恐れずに連絡して。 03-5607-0799 24時間365日 相談対応

短信

News

も発生している。

そこでの情報や都の取り組みをお知らせします。参加しているものがあります。

#### ラフォル・ジュルネ・オ・ジャポン 「熱狂の日」音楽祭*2016*



「la nature ナチュールー自然と音楽」 2016年 5月 3日・4日・5日 (火祝~木祝) 東京国際フォーラム、日比谷野音(日比谷公園大音楽堂)、 大手町・丸の内・有楽町エリア

これまでに682万人が熱狂した、日本最大版のクラシック音楽祭。 今年は12回目の開催とかります。 世界中から集った一流のアーティストのコンサートが1公演約45分、低料金で 朝から晩まで300以上のコンサートが開催されます。

有料コンサートのほか、誰でも気軽に演奏を楽しめる地上広場 ートなどのオープンプログラム、コンサートチケットまたは半勢 きる数々のイベントが行われ、子どもから大人まで楽しめます。 今年は初の試みとして、日比谷野音を会場に加えて開催します。 自由で冒険心に満ちた音楽の旅を、ぜひお楽しみください。

お問合せ先/ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャボン「熱狂の日」音楽祭事務局 電話:03-5221-9100(平日:10:00-17:00) 主催・株式会社東京国際フォーラム 共催:東京都 アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団) 企画制作:CREA/KAIMACTO